

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

音戸中学校区 校番 27 学校名 呉市立音戸小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・知・徳・体の基本的な力を身に付けるために適切な目標となっています。指標については児童や保護者の調査を踏まえているため適切であると考えます。 ・教育目標達成のための短期・中期の経営目標は、具体的で分かりやすいです。コミュニティ・スクールが導入されても、これまでの取り組みを大切にして継続してください。
目標達成のための方策の適切さ	A	・知・徳・体の取り組みにおいて、効果を見とるための具体的な数値目標が示され分かりやすいです。 ・具体的な取組内容で児童も達成感を味わうことができる内容です。 ・数値化しやすい内容であり達成度が分かりやすいです。 ・「親切さんありがとうBOX」活用してください。スピーチの取組いいと思います。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	・知の③、体の⑥以外は達成値、達成度とも中期よりは上がっています。教職員の努力のあとがうかがえました。 ・数値のみにとらわれず、課題にも言及している点がよいです。 ・「親切さんありがとうBOX」など効果が出るまで時間を要するものも継続して取り組んでいるためよい結果となってきています。 ・音戸の舟唄発表会に係る子供たちの取組に感謝しています。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・改善策に示されている項目は適切であると思います。特に業務改善の⑩の項目が100を超える取組を期待します。 ・効果のあった取組をより一層深め、教職員以外に協力を求める内容も検討しているところがよいです。水曜日は早く帰られるように祈っています。
その他		・学校での子供達の態度を見てみると、先生方がすごく頑張っていることがよく感じられます。コミュニティスクールの学校運営協議会の委員に参加させていただきたいと思っております。 ・全体を通じてPDCAがとてうまく回っていると感じます。中でも「児童と向き合う時間の確保」での結果が100%であったのが有難いです。効果のあった取組を計画的に行っていただきたいです。キュビナ活用のため、保護者へも、具体的な操作を周知してもよいのではないのでしょうか。 ・情報モラル学習や学校行事の簡略化など、PTAで協力できることを共に検討したいです。 ・校長不在の中、全教職員で団結して取り組まれているように思われます。特に校内で一番多忙な教頭先生が毎朝のバス通学の児童の出迎えは大変だと思います。他の教員も多忙であると思うので差し支えなけ交通指導員で代役をしてもよいではと思います。一考をお願いします。 ・授業参観を通して、子供達の落ち着きとクラスの温かい雰囲気うかがわれ、安心とともに音戸は子供達に支えられると実感しました。図書室前の廊下を掃除していた男の子と女の子の姿に頭が下がります。寒い中ほっぺを真っ赤にしてほうきを使っている男の子、床にひざをついて雑巾がけをしている女の子ありがとう。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	本校の取組について、目標、指標、方策、結果と分析、改善策等が適切であると評価をいただいた。また、授業参観や縦割り掃除の児童や教職員の様子から、落ち着いて学習や生活していることを評価していただいた。早速教職員で、評価を共有し、励みになっていることである。学校関係者評価委員会が出されたご意見を基に来年度に向けて、目標・方策・指標を協議し、作成していく。 ○組織的・計画的に、放課後等の少人数指導や基礎基本タイムを継続する。児童の主体性の育成を目指し、課題解決に取り組む授業づくりを教職員全員で考え実践していく。スピーチ学習や授業での表現する場を大切にする。特別支援教育の視点をもった授業づくりを全学級で行う。 ○挨拶の大切さを実感させ、児童主体の挨拶運動を考案していく。「親切さんありがとう」の活動を深化させ、安心・安全の風土を育成する。いじめは絶対に許さない学校にするために委員会主体の取組を強化する。地域学習では直接体験を重視し、地域の人・もの・ことへの愛着を深めていく。 ○げんきっず週間のメディアのルールを児童・保護者で作成・守ることを意識させた取組を行い、保護者啓発につなげる。くれ・チャレンジマッチ・スタジアムに積極的に取り組むとともに、外遊びを奨励する取組や体育科の授業等で体を動かす楽しさを経験させることで体力の向上を目指す。引き続き、地域と協働し、他教科とも関連させた防災教育を実施する。 ○企画委員会で、定期的に教育活動や時程等を見直すことで、児童と向き合う時間を確保する。特に、効果的であった取組の継続、5時間授業の導入、会議等の時間設定、授業外でのICT活用、業務の分担、行事の精選・簡略化を実施し、見直しや改善を繰り返していく。
--------------------	---